

雄勝ローズファクトリーガーデン

雄勝ローズファクトリーガーデンは、希望とコミュニティの象徴です。2011 年にこの地域を襲った東日本大震災の後、住民はこの場所に集まり、震災で亡くなった人々を追悼するため花を植えました。何百人ものボランティアによる活動のおかげで、約 2,000 平方メートルの敷地は、現在生き生きとした植物にあふれています。この場所には、多種多様なバラだけでなく、サクラやウメの木、ブルーベリー、イチゴ、サクランボ、野草も生育しています。

採れたての果物やハーブは、敷地内のカフェで販売されている飲み物や食べ物に使われています。この施設では、災害対策についてのセミナーからコンサート、ワークショップ、子どもたちの社会見学に至るまで、年間を通して幅広い活動が行われています。